

みずほCustomer Desk Report 2022/03/04号 (As of 2022/03/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.63
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	115.52	1.1113	128.41	1.3398	0.7292
SYD-NY High	115.81	1.1121	128.48	1.3418	0.7347
SYD-NY Low	115.39	1.1033	127.60	1.3318	0.7277
NY 5:00 PM	115.44	1.1066	127.73	1.3345	0.7329
NY DOW	33,794.66	▲ 96.69	日本2年債	-0.0400	1.00bp
NASDAQ	13,537.94	▲ 214.07	日本10年債	0.1700	4.00bp
S&P	4,363.49	▲ 23.05	米国2年債	1.5250	1.31bp
日経平均	26,577.27	184.24	米国5年債	1.7290	▲ 2.71bp
TOPIX	1,881.80	21.86	米国10年債	1.8396	▲ 3.80bp
シカゴ日経先物	26,370.00	▲ 310.00	独10年債	0.0180	1.05bp
ロンドンFT	7,238.85	▲ 190.71	英10年債	1.2960	3.60bp
DAX	13,698.40	▲ 301.71	豪10年債	2.1560	4.90bp
ハンセン指数	22,467.34	123.42	USDJPY 1M Vol	7.30	0.13%
上海総合	3,481.11	▲ 3.08	USDJPY 3M Vol	7.13	▲ 0.01%
NY金	1,935.90	13.60	USDJPY 6M Vol	7.33	0.08%
WTI	107.67	▲ 2.93	USDJPY 1M 25RR	-1.35	Yen Call Over
CRB指数	289.203	0.11	EURJPY 3M Vol	10.20	▲ 0.10%
ドルインデックス	97.79	0.40	EURJPY 6M Vol	9.72	0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月3日	17:55	独 マーケットPMI サービス業/コンソリット・確報	2月 55.8/55.6	56.6/56.2
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 5.2%/30.6%	2.8%/27.3%
	19:00	欧 失業率	1月 6.8%	6.9%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	26-Feb 215k	225k
3月4日	23:45	米 マーケットPMI サービス業/コンソリット・確報	2月 56.5/55.9	56.7/56
	00:00	米 パウエルFRB議長 講演	「3月の25bp利上げ支持」	
	00:00	米 製造業受注(前月比)	1月 1.4%	0.7%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月 1.6%	1.6%
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 56.5	61.1

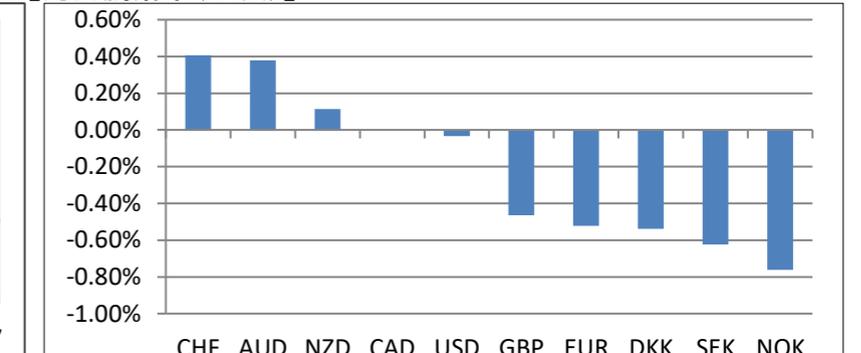
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月4日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	1月 1.5%	-3.0%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	2月 423k	467k
	22:30	米 失業率	2月 3.9%	4.0%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	2月 0.5%/5.8%	0.7%/5.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	115.30-116.00	1.100-1.120	127.50-128.50

【マーケットインプレッション】

ドル円は115.52円でオープン。東京-欧州時間は特段材料なかったものの、前日のパウエル議長の議会証言を受けたドル金利上昇を背景にドルが買われ、じり高。また、WTIが116ドル台と2008年来の高値を付ける中でユーロに対してドルが買われたことがドル円にも波及し、一時115.81円を付けた。NY時間では、2月ISM非製造業景況指数が供給制約により市場予想を下回り、115.52円まで下落。その後円買いが進み一時115.38円まで下落、115.4円でクローズ。
 本日のドル円は、昨日に引き続き115円台後半を中心にウクライナ情勢に左右される相場と考える。2回目の停戦交渉も大きな進展なかったが、3回目も行われるとのことで様子を見たい。引き続き、ユーロ売りドル買いが進む中でドル円も引っ張られる見込み。本日発表の米雇用統計により、堅調な雇用環境を確認したい。

東京	東京時間ドル円は115.52レベルでオープン。前日のパウエル議長議会証言の内容を踏まえた米金利上昇を受けドル買い優勢の展開。株式市場の堅調な動きも横目に115.72までじり高となるも、依然不透明なウクライナ情勢への警戒感から上値は重く、115.70レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	本日ロンドン時間ドル円は115.70レベルでオープン。ロシアとウクライナの停戦協議2回目結果待ちの中、欧州株が軟調に推移した事や天然ガスの強含みを背景に売られたユーロ円につられ、ドル円は115.81まで値を上げた。その後115.72レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	海外市場ではリスクオフのドル買いが継続したことからドル円は115.81まで上昇し、115.72レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的となるが、続いて発表された2月ISM非製造業景況指数が、供給制約の影響で56.5と予想61.1を下回り、115.52まで下落した。パウエル議長の上院での議会証言は昨日の下院のものと同様であったが、必要であれば1回の会合か数回の会合で早いペースの利上げを準備しているとの発言からややドルが買われた。その後次回の会合でバランスシート縮小のペースを設定するだろうとの発言はあったが、ドル円の反応は限定的となった。本日のロシアとウクライナの協議では、プーチン大統領がロシア人とウクライナ人は同じ人間で西側が作ったロシアを破壊すべきと和解には遠い発言が伝わったが、3回目の話し合いが継続されることが明らかになり、ドルが売り戻されたことから115.39まで下落し、115.44レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロ円は、スタグレーション懸念からユーロは買いづらく、上値の重い展開が続く1.1076レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が暫く続くが、株安を受けたユーロ円の売りに連れて昨日の安値1.1058を下抜けし、1.1033まで下落する。しかしこのレベルではショートカバーが持ち込まれたことや、ロシアとウクライナの協議が継続されることからその後は下げ渋り、1.1066レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。